

バックナンバー

(特集一覧)

2018
(Vol.29)

10月号 (No.10) 医工連携への積極的な取り組み
—臨床工学技士に期待される役割とは—

加納 隆 編

- 医工連携における現状の課題と国の取り組み 西垣孝行
- 医療現場における医療機器・福祉機器の開発と課題 百瀬直樹
- (公社)日本臨床工学技士会が進める 臨・学・産連携の推進 加藤博史
- 臨床工学技士による取り組み事例
小型軽量自動カフ圧コントローラの開発 加藤博史
—大手部品メーカーと開発した医療機器—
抗がん剤の曝露防止完全一体型輸液セットの開発 吉田哲也
—現場の課題を解決する医療機器の開発—
医療機器テストの開発支援 野沢義則
—医療機器以外の開発—
生命維持装置の遠隔一元監視システムの開発 川邊 学
—IoT 技術の活用—

11月号 (No.11) 医療機器安全管理体制の
さらなる充実を目指して
—医療機器安全管理責任者配置後 11 年、
現状と課題—

廣瀬 稔 編

- 全国調査からみた医療機器安全管理責任者の現状と課題 新 秀直ほか
- 中小医療機関における医療機器安全管理の現状 青木郁香
- 医療機器安全管理責任者の配置義務化 11 年を経過して
—施設全体の安全を配慮する— 高倉照彦
- 医療機器の保守点検に関する業務の変化と今後の課題 野沢義則
- 医療機器の高度化に対応する保守点検 福原正史
- (公社)日本生体医工学会の取り組み
—医療機器安全基礎講習会— 中島章夫

12月号 (No.12) 臨床工学部門の
組織のあり方について考える

峰島三千男 編

- 国公立大学病院・国立病院の例 菊地昭二ほか
- 私立大学病院の例 東條圭一
- 公立病院の例 野沢義則
- 赤十字病院の例 脇田邦彦
- 独立行政法人地域医療機能推進機構病院の例 岡澤勝巳
- 私立総合病院の例 関根広介
- 中規模私立医療機関の例 三浦俊二
- [関連記事]
・施設基準に臨床工学技士が関与する治療 野村知由樹

2019
(Vol.30)

1月号 (No.1) 理解を深めよう！
ICU でよくみるおもな疾患・病態

磨田 裕 編

- 中枢神経系障害(意識障害) 馬渡貴之ほか
- ショック 政所祐太郎ほか
- 急性冠症候群 (ACS) 山科 章
- 急性呼吸窮迫症候群 (ARDS) 倉橋清泰
- 急性腎障害 山下徹志ほか
- 敗血症 (sepsis) 島居 傑ほか
- 血小板減少症
—播種性血管内凝固症候群、血栓性微小血管症、
ヘパリン起因性血小板減少症— 江口 豊
- ICU における血糖コントロール 江木盛時
- 心臓外科術後症例 八塩章弘ほか
- [関連記事]
・代謝性アシドーシス 大塚秀秀
・せん妄 鶴田良介

2月号 (No.2) 高気圧酸素治療の再確認と創意工夫

廣谷暢子、廣瀬 稔 編

- しっかり復習 高気圧酸素治療の原理
—物理的原理から応用への展開— 野原 敦
- 高気圧酸素治療の適応疾患はどうなるのか 柳下和慶
- 高気圧酸素治療のこれからの展望 土居 浩
- 装置操作担当者の役割と安全運用とは
①第 1 種装置 齋藤謙一
②第 2 種装置 前田卓馬
- 施設のマニュアル紹介
①第 1 種装置 福富大介
②第 2 種装置 入船竜史
- 未来の人材育成
①第 1 種装置 灘吉進也
②第 2 種装置 寺田直正
- [関連記事]
・高気圧酸素治療における「耳抜き動作」について 廣谷暢子

3月号 (No.3) 透析療法における医療安全
—レジリエントな透析ケアを目指して—

篠田俊雄 編

- 透析医療における
レジリエンス・エンジニアリングの適用 北村温美ほか
- 血液透析の手技、治療中の患者観察における
安全・円滑な業務手順を目指して 佐藤久光
- 安全な通院への支援—送迎と通院介護— 水内恵子
- 治療中の安全・円滑な透析装置の稼働を目指して 本間 崇
- 治療の安全性を担保する透析液浄化を目指して 内野順司
- 透析事故のトラブルシューティング 山家敏彦

4月号
(No.4)

人工呼吸器の保守管理

——歩進んだ知識と技術を解説！——

磨田 裕 編

■ 保守点検と法令

—保守点検はどのように行うか— 相嶋一登

■ 保守点検に必要な器材

—テスト肺、圧・流量・換気量測定器— 大竹純平ほか

■ 各パラメータの点検

—わずかな異常に気が付くためのスキル— 藤本正弘

■ 加温加湿器の保守点検

—仕組みと動作から点検方法まで— 梶原吉春

■ 再使用部品の取り扱い

—消毒、滅菌、期限管理の考え方と実際— 木村政義

■ ログデータの活用方法

石井宣大

[関連記事]

・人工呼吸器内蔵バッテリーの点検方法と限界
石山智之ほか5月号
(No.5)

透析装置の基本を身に付けよう！

峰島三千男 編

■ 透析液供給装置の基本

江村宗郎

■ 透析用監視装置の基本

石森 勇

■ 各種多用途透析装置の特徴

JMS 透析用コンソール GC-X01 前田成臣ほか

透析用監視装置 TR-3300M 大塚卓也

多用途透析用監視装置 DCS®-100NX 望月洋明

透析用監視装置 NCV-3 永井 翔

[関連記事]

・血液透析装置の標準化 川西秀樹

・透析装置の共通通信プロトコル誕生から今日まで
芝本 隆
内野順司6月号
(No.6)新しい植込み型神経刺激装置と
臨床工学技士のかかわり

加納 隆 編

■ ニューロモデュレーションの歴史と概要 谷 直樹ほか

■ パーキンソン病に対する脳深部刺激療法 内山卓也

■ 疼痛緩和のための脊髄刺激療法 細見晃一

■ てんかん治療のための迷走神経刺激療法 中野直樹

■ ニューロモデュレーション治療への 先田久志

■ 臨床工学技士のかかわり

■ ニューロモデュレーション製品の特徴

① DBS 用製品 山田久美子ほか

② SCS 用製品 長瀧友美

[関連記事]

・植込み型神経刺激治療装置に対する電磁障害
—総務省調査より— 加納 隆7月号
(No.7)臨床工学技士新人教育の充実を目指して
—フレッシャーをどのように育てるか—

廣瀬 稔 編

■ 新人教育プログラムの実際と策定のポイント 石井千昭

■ 各業務での新人教育の実際と指導のポイント

医療機器管理業務 金 辰徳

血液浄化療法業務 武田 崇ほか

呼吸療法業務—在宅医療を含む— 春田良雄

人工心肺・補助循環業務 南 茂ほか

高気圧酸素治療業務 赤嶺史郎

心臓カテーテル業務 舘 智子ほか

植込みデバイス業務 中川孝太郎

手術室関連業務 立野 聡

■ 新人教育の評価ポイント—血液浄化を中心に—

吉川史華ほか

■ プリセプターシップの導入の効果

東條圭一ほか

■ 卒後教育としての(公社)日本臨床工学技士会の取り組み

野村知由樹

8月号
(No.8)

呼吸管理

—上級編—

磨田 裕 編

■ 経肺圧・食道内圧と臨床応用

塩屋 玲ほか

■ EIT—electrical impedance tomography—

の原理と臨床応用 宮下亮一ほか

■ NAVA と Edi モニタリング—より自然な呼吸へ—

高橋大二郎

■ 肺保護換気戦略の最新知識

—臨床的なアプローチ— 刈谷隆之ほか

■ 腹臥位療法 宮川哲夫ほか

■ 呼吸管理における ECMO 大山慶介ほか

■ 酸素療法のいま 鈴木 聡

■ 呼吸管理についてのメディカルスタッフ教育における

臨床工学技士の役割・かわり 相嶋一登

9月号
(No.9)医療安全元年から 20 年を経て
人工心肺トラブルシューティング

許 俊鋭 編

■ 人工心肺トラブルの成因における

ヒューマンエラーとシステムエラー 許 俊鋭

■ 体外循環における空気誤送のメカニズムと対応策

百瀬直樹

■ 人工肺の目詰まりによる内圧上昇の対応策

岩城秀平ほか

■ 体外循環の災害対策 鈴木一郎

■ 心筋保護に関連したトラブルと合併症—reprise—

吉田 譲

■ 補助循環に関連したトラブルと合併症

—IABP, PCPS, IMPELLA, VAD— 柏 公一ほか

■ 人工心肺トラブルシューティングにおける

シミュレーション実践と教育の重要性 富澤康子

■ 人工心肺における安全装置設置に関する勧告

—第 6 版, 2018—を中心に 堤 善充

10月号
(No.10)臨床工学技士が知りたい
医療ガスのすべて

廣瀬 稔 編

■ 医療ガスの安全使用のために

臨床工学技士はどうかかわるか 高倉照彦

■ 医療ガスの安全管理を適切に行うために

—通知のポイントを押さえて実務に活かす— 大杉 隆

■ ここが知りたい！ 医療ガスの製造方法 田邊浩義

■ ここが知りたい！ 医療ガス配管設備の基礎 元田忠磨

■ ここが知りたい！

医療ガスに適用される高圧ガス保安法 大沼倫晃

■ 事例から学ぶ 医療ガスに関連したトラブル 江場大二

■ なぜ起こる？ どのように改善する？

医療用ガスボンベのインシデント・アクシデント

梶原吉春

■ 通知を遵守！ 医療ガス設備の保守管理業務

小室克夫

[関連記事]

・安全への取り組みに活かしたい！

医療ガス安全管理者講習会 出澤由紀子

・原理と構造を押さえよう！

圧力調整器による事故を防止するために 小川貴康

・酸素ボンベアラームの開発と活用 古岡 淳

・医療ガスの認定制度—MGR を知っていますか？— 白坏隆文